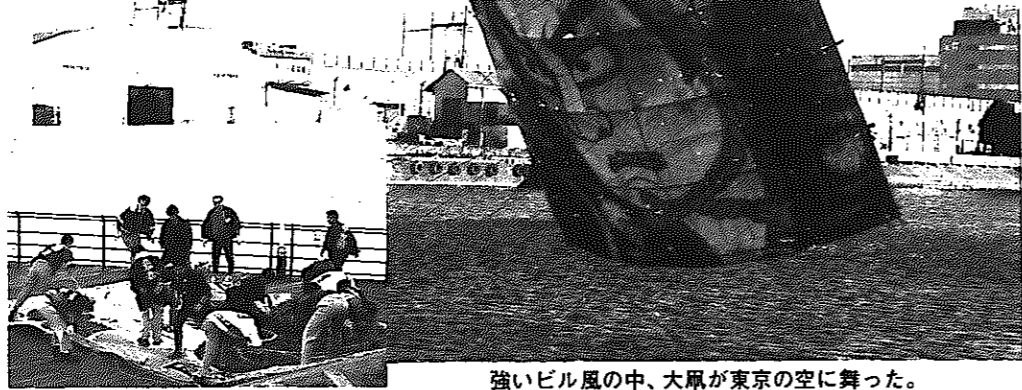




子供凧作り教室では子供たちが連凧作りにチャレンジ。



強いビル風の中、大凧が東京の空に舞った。

# 大凧と物産を 東京でPR

## 越後しろねを考える会 天王洲アイルイベント

1月15・16日、天王洲アイル（東京都品川区）で、約70人の市民が白根の大凧と物産のPRイベントを行いました。イベントを行ったのは、市民有志グループ「越後しろねを考える会（関根繁之代表世話人）」。「ふるさと白根を東京でPRしよう」と昨年からはじめられました。会場では、西洋ナシの試食なども行われたほか、白根の名産物が入ったおたのしみ箱や小凧もプレゼントされ、大勢の人でにぎわいました。また、昨年は強風のため失敗した凧揚げも、今年は見事成功。高層ビルが建ち並ぶ東京の空に、大凧が舞い上がりました。



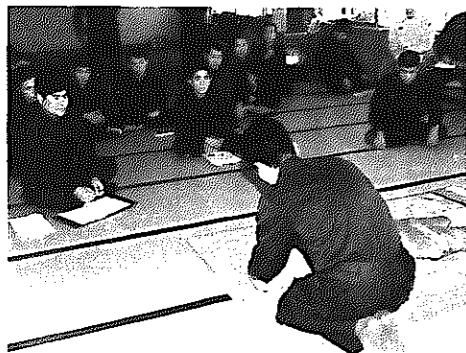
会場では  
たくさんの方がレク  
チュエを試食。「おいしいね」と大好評。



白根の名産品をプレゼントするコーナーは長蛇の列。



### まちの話題



救急事故が増加、複雑化する中、応急手当の重要性はますます高まっています。白根地区消防署では、署員三十三人を対象に、企業や学校などで応急手当の指導をする指導員の講習会を、一月二十三日から三日間にわたって青年教育センターで行いました。同署でこのような講習会が開かれたのは今年が初めて。「実践的な指導方法を身につけよう」と、消防学校などで指導方法を学んだ有資格者の職員を講師として、市内の病院の協力などを得ながら開かれたものです。講習会では班に分かれて、お互いに指導の実演をしたり質問をしたり。一般の人にいかにも効率がよく分かりやすく教えるかを、懸命に学んでいました。

### 指導能力を高めよう

白根地区消防署  
応急手当指導員講習会

### まちの話題

### 長生きの秘けつは？

茨曾根地区百歳健康教室



二月九日と十六日、「健康百歳教室」が茨曾根地域生活センターなど3カ所で開かれました。これは「歳を取ってからも楽しく過ごせるよう、寸劇を通して健康づくり役に役立ててもらおう」と茨曾根地区公民館と保健会が共催したものです。九日の東萱場ふれあいセンターでの教室には約四十人が参加しました。寸劇には、地元の人たちが出演。「薬の飲み方」や「脳卒中の予防」など、健康についての話を劇の中で分かりやすく解説します。アドリブも入った熱演に、会場は大爆笑。寸劇の後、保健婦からの話「長生きの秘けつ」を、参加者たちは熱心に聞いていました。